



しんぶん 赤 旗 29.6.25

教育勅語容認するな

県退職教職員協が申し入れ

高知



田村教育長(中央奥)に申し入れる退職教職員協議会のメンバーら。22日、高知市

高知県退職教職員協議会は22日、県の田村壮児教育長に「教育勅語」を容認しないよう申し入れました。日本共産党の吉良富彦県議が同席しました。同協議会のメンバーは今日5日の定期大会で採択した「政府による教育勅語容認の姿勢に満身の怒りをこめて抗議する」などと

特別決議を田村氏に提示。「何かことがあれば天皇に命をささげることにつながっている」「教育とは子どもたちの可能性を引き出していくもの。ある特定の思想を押し付けるものではない」「戦争する国づくりの手段として教育勅語が持ち出されてきている」と訴えました。

田村氏は「教育勅語は国会で、廃止、失効決議がされており、そこに書かれている徳目を身につけようということにはならない」と答えました。

●歴史学習など教科の中で、その徳目の一部や勅語全体を取り上げる場合においても、廃止され効力を失っている歴史的な性格をしっかりとらえ、批判的な認識を形成する指導を伴わずに取り上げることは認められるものではありません。



田村県教育長 廃止・失効と明言

●安倍内閣の教育勅語容認閣議決定は、公立学校そのものを「森友学園」化させようというもの●県退教協の申し入れに田村県教育長が「廃止、失効した」「身に付けよと言う事にはならない」と答えた事は現憲法遵守義務から極めて真つ当な姿勢です。

●旅へと突き動かされる青春―8きっぷ

ポスター紀行



この25日まで郷土文学館で開催されていた「青春―8きっぷIIポスター紀行」展へ行った。26年間のポスターと一緒に日本各地を訪れ旅情にひたる。

その一方で、国鉄分割民営化によって国民の低額で自由に移動する権利が奪われ、廃線と共に美しい風景をも奪われてきた事への怒りもわいてきた。庶民が乗れもしない高級車両ではなく統合して地方線を守れ!



キラリンにゃんでも通信